

児童考案鶏めし お味は？ 大館・桂城小

大館市立桂城小学校の児童のアイデアを反映させた鶏めし弁当が、同市の駅弁製造販売「花善」の協力で完成し、試食会が6日開かれた。弁当は同市で開催される「大館アメッコ市」（11日～12日）会場で販売する。

SDGs（持続可能な買いは宇T目標）についての児童の学びを生かし、ユニカリの樹木を主原料にした容器を選定。鶏めしに加え、桃豚団子の稲庭うどん包み、ババヘラアイス味の蒸しパンと、県内食材を用いたメニューを添えた。

弁当を包む掛け紙は児童らの人気投票で、秋田犬やきりたんぽなどを描いた4種類が選ばれた。6日の試食会で、6年の佐藤佑人君（12）は「お年寄りから子どもまでおいしく食べられる弁当で笑顔になってほしい」と話した。

税込み 550 円で計 2000 食の限定販売。

（令和5年2月7日(火)読売新聞より一部抜粋）